

MICROJET

LaboJet-Bioシリーズ



ピエゾInkJet式 分注・パターンニング装置

ピコリットルの液体ハンドリング
バイオチップから回路形成まで

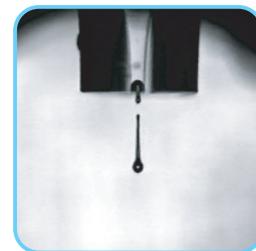


※3軸(X・Y・Z)自動制御
※写真は一部オプションを含む

特徴

- 1 少量の液を自動で吸上げて、分注・パターンニング(最少必要量:0.2ml)
- 2 自動洗浄により、1ヘッドで多種類の液材料をハンドリング
- 3 飛翔液滴のモニタリング機能標準搭載
- 4 ワークのアライメント機能やテーブル観察機能搭載
- 5 独自開発の高表面張力や高粘度対応ピエゾヘッド搭載

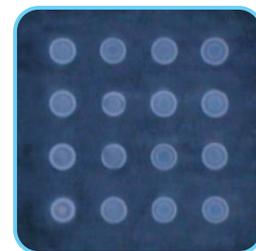
最少必要
液量
200 μ l



液滴飛翔観察機能

用途例

- タンパク・抗体・DNA・酵素・細胞溶液や試薬の分注・パターンニング
- 各種バイオチップやバイオセンサーの作製
- ナノ金属インクによる回路形成
- 各種電子デバイスの試作 等



バイオチップ作製例

※液によって安定吐出しがない場合があります
※写真と実際の装置は異なる場合があります
※仕様は予告なしに変更することがあります

株式会社 マイクロジェット

長野県塩尻市大門五番町79-2 TEL 0263-51-1734 www.inkjet-bio.com mj-sales@microjet.co.jp

装置紹介動画は
こちら



LaboJet-Bio シリーズ 概仕様

機種名	LaboJet-600Bio		LaboJet-1000Bio
	Standard	Professional	Standard
装置構成	本体(XYZ 3軸ステージ)、ステージコントローラ、ヘッドコントローラ、制御用PC、専用アプリケーション		
IntelliJet機能搭載 (ヘッド駆動条件自動設定機能)	なし	ヘッド駆動条件自動設定	なし
装置サイズ(本体)	W620×D510×H610[mm] ※突起部除く		W700×D400×H600[mm] ※突起部除く
搭載ヘッド ※詳細は下段参照	吸い上げ式1ノズルヘッド 1個 (容器からの供給も可能) ※ピエゾ方式 ※搭載ヘッドの詳細は下段参照		
吐出液滴量	下段の搭載ヘッド参照 ※ヘッド種類や使用する液種による		
適応粘度範囲	下段の搭載ヘッド参照 ※ヘッド種類や使用する液種による		
吐出液	DNA、タンパク、抗体、細胞液、試薬、酵素、ビーズ懸濁液、高分子液、ナノ粒子液、水系・溶剤系・UV系インク等 ※液種によっては安定吐出できない液があります		
液容器	専用チューブまたは専用ガラス容器を最大16個までセット可能 (最小必要量:0.2ml)		
ヘッド洗浄機能	洗浄液を吸い上げて洗浄後指定位置に排出可能		
分注、パターニング内容	分注、スポットティング、点・線・面のパターニング、ビットマップ印刷(オプション)		
分注、パターニング領域	W40×D80[mm] テーブルサイズ:W50×D100[mm]		W80×D120[mm] テーブルサイズ:W108×D148[mm]
パターニング位置合わせ	テーブル観察カメラによる高精度な位置合わせ		
基板アライメント調整	手動テーブル回転機能		
ステージ移動精度 (繰り返し位置決め精度)	±5μm以内		±10μm以内
飛翔液滴観察機能	CCD(モノクロ)、発光部、発光制御部はヘッドコントローラーに内蔵		
電源・消費電力	単相AC100V±10% 350VA以下		
使用環境	15~30°C 20~70%RH		
オプション	加熱テーブル、冷却テーブル、吸着テーブル、ビットマップ印刷、専用クリーンブース、インターロック等		

搭載ヘッド

ヘッド種類		特徴	ヘッドヒータ	適応粘度[mPa・s]	吐出液滴量[nl/滴]
GlassJet ヘッド	IJHBシリーズ	低粘度、高表面張力液を吐出	無	0.5~10	0.005~1
	IJHDシリーズ	加熱せずに高粘度液を吐出	無	0.5~40	0.005~1

※液種によっては安定吐出できない液があります。

※液滴量により適応粘度目安は異なります。

※上記仕様は予告なしに変更することがあります。